～　春日小は毎日が参観日　～

佐世保市立春日小学校　学校便り　No.16（平成 30 年 11 月 15 日）

春のよき日

文責（校長　白濵忠昭）

1　限られた時間を大切に。

学校便りNo.１０で紹介した娘の第一子が、先月末に産まれました。私にとって３人目の**孫の誕生**です。２,６９６グラムの元気な男の子でした。予定日より１週間ほど早い出産で、体重が軽く、黄疸も出て心配する娘に、妻は、「昔から、**小さく産んで大きく育てろ**って言うよ。大丈夫。」と励まし、安心させていました。根拠はさておき、不安がる娘を一言で安心させる**妻の姿が偉大に見えました。**

今回は、初めての外孫で、退院後は我が家にいるので、帰宅がとても楽しみな日々が続いています。家では、夫婦・娘して「頭の形がいい」「まつげが長い」「鳴き声が優しい」「手足が長くて背が伸びる」等々、**称賛のオンパレード**です。まさに**「褒めて育てる」の第一歩**を踏み出しました。「息子が大きくなっても、褒めることを忘れないようにしなければ」と新たな気持ちを抱いた娘に、私ども夫婦は、「ごめんね、私たちはだんだんと叱ることが多くなったかもしれない。もう遅いけど…」と反省させられました。ただ、こうした**家族でのほのぼのとした時間**は、これからも大切にしていこうと思います。

先般、地域の回覧板で、「清水小学校の学校便り」を目にし、次のような記事が心に残りましたので紹介します。

親子で一緒に過ごす時間はどのくらい？

（前略）我が子と生涯で一緒に過ごす時間は、母親で約７年６ヶ月、父親はたったの約３年４ヶ月だそうです。（中略）幼稚園入園の時点で、全体の１８％減、卒園時で３２％減、小学校卒業で５５％と半分以上が過ぎることになり、１８歳で親元を離れる頃には、７３％減となってしまうそうです。

親子で過ごす時間って、子どもにとっては永遠にあるように感じがするかもしれませんが、実は幼少の頃にその多くが終わり、成長につれてどんどん残された時間が少なくなっていくのですね。さあ、これから親子でどういうお付き合いをしていきましょうか。（後略）

家族環境により、数値に増減はあるものの、具体的に数字で表されると、**有限性を実感**しますね。限られた時間を親子孫で大切に過ごしたいものです。

２　学校外で活躍する「春日っ子」を紹介します。

①　第３９回あこう籏争奪ジュニアソフトボール大会

○　**春日・鹿子前合同チーム　　準優勝**

②　第３３回ＮＫＡ秋季大会

○　**春日・鹿子前合同チーム　　第３位**

③　ＭＯＡ美術館長崎県児童作品展

○　１年　○○　○○　**さん　　金賞**

④　「私の『夢・憧れ・志』作文コンクール

○　４年　○○　○○　**さん　　優秀賞**

（長崎県教育会理事長賞）

⑤　西海市ジュニアスポーツ大会　バドミントンの部

○　６年　○○　○○　**さん　　第３位**

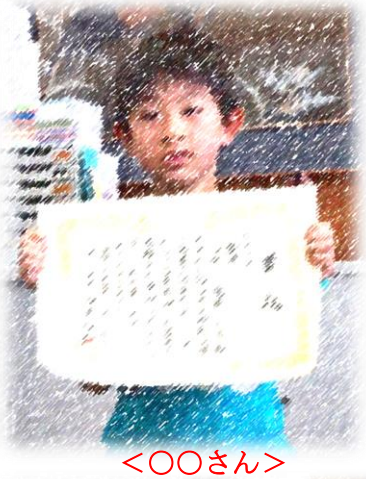
○　４年　○○　○○　**さん　　第３位**

⑥　九州小学生親善ハンドボール大会　長崎県予選

○　**春日女子ハンドボールクラブ　優勝**

⑦　音の夢ピアノコンクール全国大会

○　４年　○○　○○　**さん　　努力賞**



＜○○さん＞

＜○○さん＞

＜春日女子ハンドボールクラブ＞

＜○○さん＞

＜春日小ジュニアソフトボールクラブ＞

＜○○さん姉妹＞

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　切　り　取　り　・・・・・・・・・・・・・・・・・・

※　ご意見，ご感想がありましたら，子どもたちを通して，ご連絡ください。